



玄関ドア BF非断熱枠

取付け説明書

■取付け上のお願い

- 取付けねじは、必ず指定のものを使用し、完全に取付けてください。
- 化粧額縁部分は、下枠下端より70mm出ますので、現場の納まりに合わせて切断してください。
- 本製品は土間納まり専用の商品です。その他に使用する場合は防水処理を行ってください。

■使用ねじ一覧表

a	b	(仮止め用)
皿木ねじφ3.8×45	ナベタッピングねじ φ4×25	スクルー釘 φ2.1×25

■取付け順序

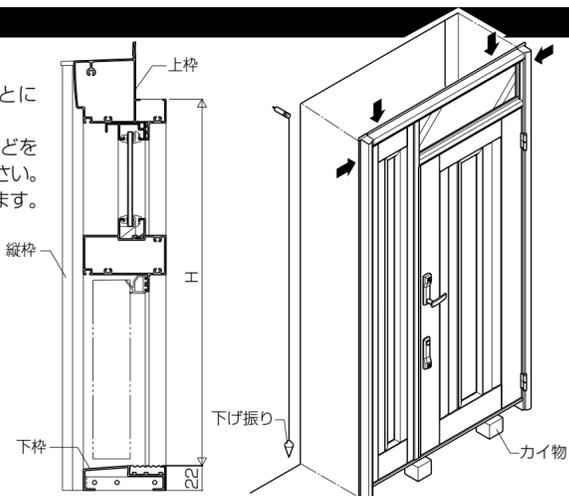
1 開口部の確認

- ①開口寸法(H・W)は、下表(製品基本寸法)をもとに確認してください。
- ②下げ振り等で前後・左右の狂いや柱同士のネジレなどを正しく調整し、水準器でマグサの水平を出してください。
- ③扉を枠につり込み、一体にして開口部に仮止めします。
→印付近に、仮止め用の釘穴(長穴)があります。

■製品基本寸法

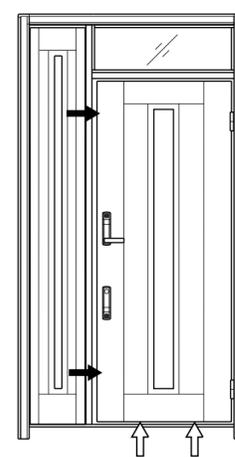
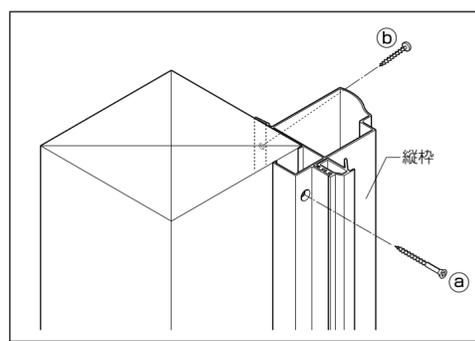
単位: mm

H	20	ランマなし	2037
		ランマ付き	2350
W	23	ランマなし	2350
		3R	924
		4.5R	1240
		4.5R(MM)	1320



2 躯体への取付けとすき間(チリ)の調整

- ①上下(↑)及び、左右(→)のすき間を均等にし、戸当り気密材が扉と密着するように枠のネジレ・コロビを調整します。



3 躯体への取付け(カイ物のお願)

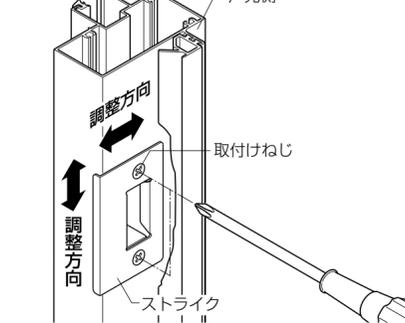
- 枠と躯体とのすき間には、カイ物を当てて、固定してください。
- ※カイ物を当てずに固定すると、枠のゆがみやネジレを生じますのでご注意ください。

■コンクリート納まりの場合

- アンカーは別売りを使用します。取付け説明書はアンカーセットの中に同梱してあります。

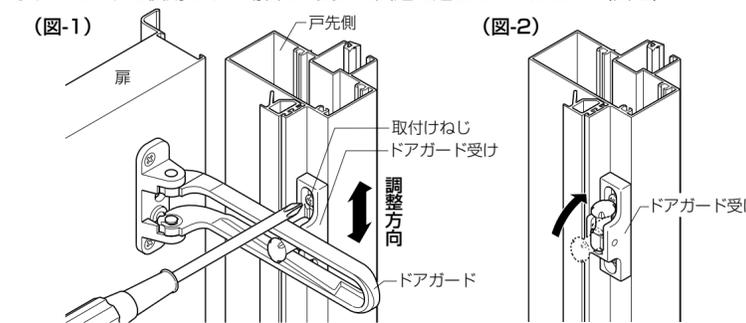
4 ストライクの調整

- ドアロックのラッチがかからない場合は、ストライクの取付けねじをゆるめ、ストライクの位置を調整してください。



5 ドアガードの調整

- ※ドアガードが受けに掛からない場合は、受けの取付けねじをゆるめ、位置を調整してください。(本体側のドアガードは調整できません。)
- ドアガードアームがスムーズに操作できるか確認してから本固定してください。(図-1)
- ドアガードを使用しない場合は、受けの突起を起こしてください。(図-2)

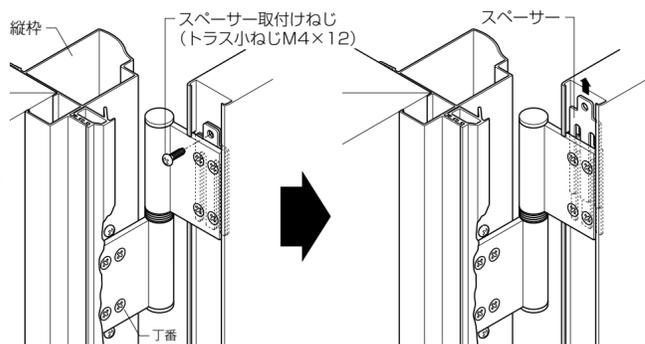


■建付け調整

- ※本体(又は子扉)をつり込んだ後、枠と本体(又は子扉)のすき間が納まり図通りになっているか確認してください。
- すき間が納まり図通りになっていない場合は、以下の手順ですき間を調整してください。(納まりは右図を参考にしてください。)

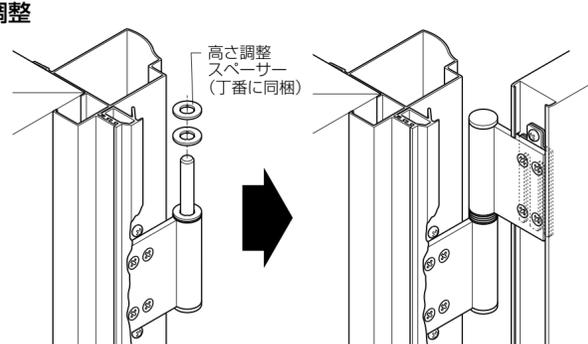
■左右方向のすき間の調整

- ※スペーサーはあらかじめ本体に取付けてあります。
- ①スペーサー取付けねじを外します。
- ②丁番取付けねじ(4本)をゆるめます。
- ③スペーサーを引き抜いて外します。
- ④丁番ねじを締付けます。
- ※スペーサーを1枚外すと1.5mm、2枚外すと3mm ドア本体が元側へ寄りやすくなります。
- ※スペーサーを追加すると、戸先側へ寄りやすくなります。



■上下方向のすき間の調整

- ドアを枠から外し、丁番の軸に付属の高さ調整スペーサー(丁番と同梱)を入れます。
- ※1枚入れると1.5mm、2枚入れると3mm ドアが上へ上がります。

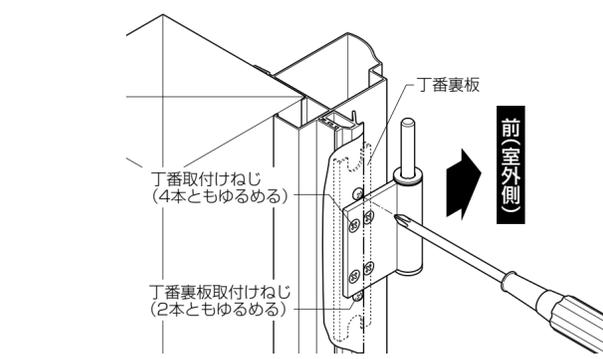


■前後(室内・室外側)方向の調整

- ①ドア本体を枠から外し、枠側の丁番取付けねじ(4本)と丁番裏板取付けねじ(2本)をゆるめます。

- 取付けねじを全部外さないでください。丁番裏板が脱落し、丁番が取付けられなくなります。

- ②丁番裏板ごと前に出すと室外側に1.5mm、後にすると-1.5mmまでドア本体が動きます。
- ③①でゆるめた丁番取付けねじと丁番裏板取付けねじを締付けます。

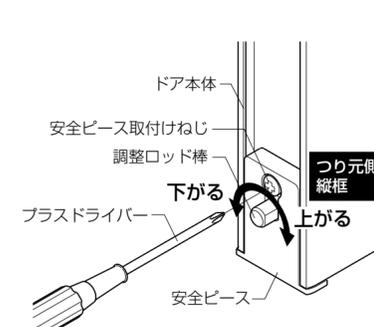


■ボトムタイト気密材の調整(単体または親扉のみ)

- ドアの下に紙をはさんで閉め、紙が抜けない事を確認します。
- (簡単に抜ける場合)… ボトムタイト気密材を下げ、下枠とのすき間を小さくします。
- (全く抜けない場合)… ボトムタイト気密材を上げ、下枠とのすき間を大きくします。

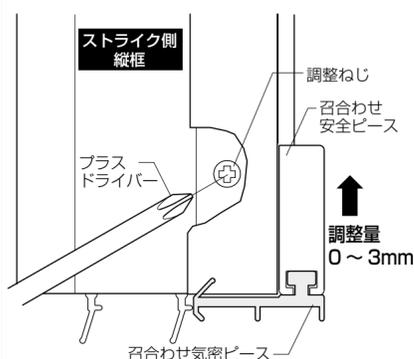
【調整方法】

- ①本体の安全ピース取付けねじをプラスドライバーで外し、安全ピースを取り外します。
- ②手で調整ロッド棒を180°回します。
※右に回すとボトムタイト気密材が1mm上がり、左に回すと1mm下がります。
※必要な場合のみ、さらに180°回してください。
- ※調整ロッド棒は左に回しすぎないでください。安全ピースが取付けられなくなります。
- ③安全ピースを取付けます。



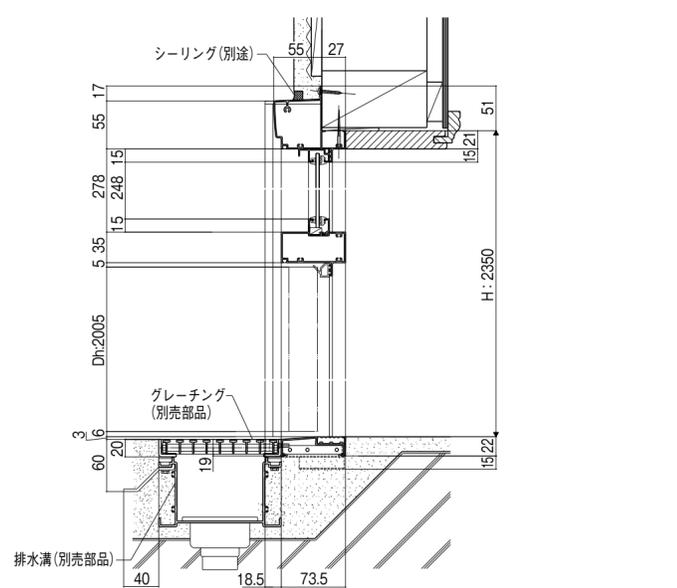
■召合わせ気密ピースの調整(子扉のみ)

- 召合わせ気密ピースと下枠との当たりがきつい場合は、プラスドライバーで調整ねじをゆるめ、召合わせ安全ピースを上げてください。
- ※召合わせ気密ピースが3mmまで上げられます。



■参考納まり図

●縦断面図



●横断面図

